

## 参考様式B5(自己評価等関係)

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだち平田			
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日 ~ R7年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人(兄弟児1人)	(回答者数)	23人(兄弟児1人)
○従業者評価実施期間	R6年 11月 1日 ~ R7年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 1日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもは安心感を持って通所されており、楽しみに来てくれる児童が多い。	5領域を意識した活動内容、各月ごとに担当を変え、内容の差別化を図っている。また土祝、長期休みではその時ならではの特別感を出し来所する楽しみを作っている。	感覚統合やビジョントレーニングなど、目的を明確化したプログラムなどにも今後取り組んでいく。
2	個別支援計画についての評価が高く、また具体的な支援内容についても満足して頂けている。	日頃から保護者と子どもについての情報を共有し、要望や質問など聞き取り行っている。要望があった際にはその都度職員間で共有、周知を行い対応を行っている。	今後も保護者との関係性を構築し、よりその子の特性や課題に合わせた支援計画の作成、子どもたちの自主性、将来の自立に向けた支援プログラムを作成していく。
3	SNSなどで保護者と連携を図り、活動の概要や予定、持ち物などの連絡、子どもの様子などを発信、また保護者からも気軽に連絡をもらえるような仕組みを行っている。	ブログなどで子どもの様子を発信すると共に、送迎時にその日の子どもの気になることを共有、ヒヤリハットなどの事例もお伝えし、今後の対策などもその場で伝えている。ブログをアップした際にはSNSで発信。周知行っている。	今後も定期的なブログの更新に努め、活動内容を知っていただけるようにしていきながら、普段の様子など、保護者から要望があれば個別に伝えられるような取り組みを考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが、保護者には何をしているのかが伝わっていない	避難訓練、有事の際の準備物の用意はあるが、ブログだけの情報発信なので、保護者に内容が伝わりづらい。	引き続きブログにて避難訓練などの様子は発信しながら、紙面なども使って、すぐに保護者に内容が伝わるような施策を実施していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の子どもと活動する機会が少ない	平日は送迎時間の都合などもあり、交流が難しい。土祝だと開いている学童が少なく、こちらから問い合わせはしているが、現在受け入れてもらえるところがない。	今後も引き続き、交流できそうな学童などを探しながら、地域のイベントやボランティア活動に参加し、地域の方たちとも交流を図っていく。
3	施設の活動スペースが狭い	テナントでの活動の為施設拡張が難しく、これ以上のスペース確保が難しい。	外遊びができるときには、職員見守りの元、外遊びに行ったり、土祝、長期休みなどには外出する機会を持ち、大きな活動ができる機会を確保していく。